

鹿兒島工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	ドイツ語Ⅱ A
科目基礎情報					
科目番号	0118		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	情報工学科		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	前期:2	
教科書/教材	『Klasse』 (谷澤優子他著) 白水社, 『やさしい! ドイツ語の学習辞典』 同学社				
担当教員	保坂 直之				
目的・到達目標					
A2-1 (CEFR=ヨーロッパ言語共通参照枠)					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	ごく基本的な個人情報や家族情報に関しては、文章やよく使われる表現が理解できる。		ごく基本的な個人情報や家族情報に関しては、文章やよく使われる表現がある程度は理解できる。		ごく基本的な個人情報や家族情報に関しては、文章やよく使われる表現が理解できない。
評価項目2	買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文章やよく使われる表現が理解できる。		買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文章やよく使われる表現がある程度は理解できる。		買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文章やよく使われる表現が理解できない。
評価項目3	簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。		簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換にある程度は応じることができる。		簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についてでも、単純で直接的な情報交換に応じることができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	学習者が語り合いながら、共同作業しながら、日常的コミュニケーションが可能な程度のご学力を養う。また、欧州の文化やものの見方に触れて、さまざまな異文化と共存できる深い視野を身につける。(CEFR A2-1)				
授業の進め方と授業内容・方法	4年次に学習した初級ドイツ語の入門的知識は必要。聞き取りや発話の演習によるコミュニケーションのための授業だが、体系文法学習も一部取り入れる。試験はTyp1 (会話テスト)、Typ2 (文構造理解・語彙などの総合テスト)、Typ3 (読解テスト) の3つを組み合わせで行う。				
注意点	授業ではペアワーク、グループワークなどの活動の時間が多い。外国語習得のためには授業の後、テキストの音読や課題学習などを含む復習で60分程度の自学自習が必要である。「書き言葉」での試験以外に「声」を使って人と語り合う試験があるので、声を出す練習は教室・自宅でも十分にしたい。自学自習60分/1Wが必要である。会話練習では他者の気持ちを掴んで語り合う練習を特に重視する。(* B5ノートが必要です・提出用・ルーズリーフ不可)				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容・方法		週ごとの到達目標	
前期	1週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (不規則変化動詞、命令) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)		・ 不規則変化動詞を使うことができる。 ・ 命令の文を作ることができる。 ・ 命令文を口に出して自由に使うことができる。 ・ 「～が好き」の文を口に出して自由に使うことができる。	
	2週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (不規則変化動詞、命令) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)		・ 不規則変化動詞を使うことができる。 ・ 命令の文を作ることができる。 ・ 命令文を口に出して自由に使うことができる。 ・ 「～が好き」の文を口に出して自由に使うことができる。	
	3週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (不規則変化動詞、命令) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)		・ 不規則変化動詞を使うことができる。 ・ 命令の文を作ることができる。 ・ 命令文を口に出して自由に使うことができる。 ・ 「～が好き」の文を口に出して自由に使うことができる。	
	4週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (不規則変化動詞、命令) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)		・ 不規則変化動詞を使うことができる。 ・ 命令の文を作ることができる。 ・ 命令文を口に出して自由に使うことができる。 ・ 「～が好き」の文を口に出して自由に使うことができる。	
	5週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (不規則変化動詞、命令) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)		・ 不規則変化動詞を使うことができる。 ・ 命令の文を作ることができる。 ・ 命令文を口に出して自由に使うことができる。 ・ 「～が好き」の文を口に出して自由に使うことができる。	
	6週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (不規則変化動詞、命令) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)		・ 不規則変化動詞を使うことができる。 ・ 命令の文を作ることができる。 ・ 命令文を口に出して自由に使うことができる。 ・ 「～が好き」の文を口に出して自由に使うことができる。	
	7週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (不規則変化動詞、命令) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)		・ 不規則変化動詞を使うことができる。 ・ 命令の文を作ることができる。 ・ 命令文を口に出して自由に使うことができる。 ・ 「～が好き」の文を口に出して自由に使うことができる。	

2ndQ	8週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (2格、3格) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)	・人称代名詞3/4格を使うことができる。 ・2格・3格を使うことができる。 ・3格支配の前置詞を使うことができる。 ・動詞gehörenの文を口に出して自由に使うことができる。
	9週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (2格、3格) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)	・人称代名詞3/4格を使うことができる。 ・2格・3格を使うことができる。 ・3格支配の前置詞を使うことができる。 ・動詞gehörenの文を口に出して自由に使うことができる。
	10週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (2格、3格) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)	・人称代名詞3/4格を使うことができる。 ・2格・3格を使うことができる。 ・3格支配の前置詞を使うことができる。 ・動詞gehörenの文を口に出して自由に使うことができる。
	11週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (2格、3格) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)	・人称代名詞3/4格を使うことができる。 ・2格・3格を使うことができる。 ・3格支配の前置詞を使うことができる。 ・動詞gehörenの文を口に出して自由に使うことができる。
	12週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (2格、3格) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)	・人称代名詞3/4格を使うことができる。 ・2格・3格を使うことができる。 ・3格支配の前置詞を使うことができる。 ・動詞gehörenの文を口に出して自由に使うことができる。
	13週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (2格、3格) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)	・人称代名詞3/4格を使うことができる。 ・2格・3格を使うことができる。 ・3格支配の前置詞を使うことができる。 ・動詞gehörenの文を口に出して自由に使うことができる。
	14週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (2格、3格) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)	・人称代名詞3/4格を使うことができる。 ・2格・3格を使うことができる。 ・3格支配の前置詞を使うことができる。 ・動詞gehörenの文を口に出して自由に使うことができる。
	15週	前期末試験・答案返却	前期14週までの項目について達成度を確認する。
	16週		

評価割合

	会話テスト(Typ1)	総合テスト(Typ2)	態度・課題(-10)	合計
総合評価割合	40	60	0	100
基礎的能力	20	30	0	50
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	20	30	0	50